



地域と医療のコラボレーション

ハーモニー

Harmony ♪

第14号

2009 / JANUARY

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

平成二十一年 年頭挨拶

日本人の死因の第一はがんです。

東大宮総合病院はがん診療の拠点病院を目指して本年より新しい取り組みを始めます。①がん患者様のスクリーニングと登録制度の導入②外来化学療法室の整備③がんの相談支援センターの設置④セカンドオピニオン外来の設置⑤緩和ケアチームの活動開始⑥がん診療の地域連携パスの活用などが具体的な目標です。すでに昨年より着々と準備を進めており、新年早々から実施の運びと考えております。また当院は日本がん治療認定医機構の指定を受けており、がん治療の認定医を揃えております。

胃がん、大腸がん、肝臓がん、乳がんに積極的に取り組み、肺がんは東埼玉病院と連携を取りながら対応しております。

1月から開設されるがん相談支援室はがん患者様とご家族の悩みの相談を受け、的確なアドバイスと医師の紹介支援をする役割を担っております。専従の看護師が担当し、相談料は無料となっております。

がんは誰にとっても深刻な問題です。地域にしっかりとがん診療が出来る病院があることは住民

にとって強い安心感となるでしょう。3人に1人ががんになることを考えれば、私たちに課せられた役割は重要だと認識しております。今年も今まで以上に地域に根ざした病院造りを目指し、安心して治療を受けていただける病院に成長していきたいと存じます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

病院理念 愛し愛される病院

～ 行動指針 ～

1. 私たちは、わかりやすい言葉で説明します
2. 私たちは、理解と同意のもとで正しい医療を提供します
3. 私たちは、誤りを素直に認め正す努力をします
4. 私たちは、患者さまの満足で提供した医療の質を評価します
5. 私たちは、診療経過を正確に記録に残します
6. 私たちは、患者さまの訴えや要望に応えるよう心がけます
7. 私たちは、笑顔を忘れず優しい言葉で接し、迅速な対応を心がけます



東大宮総合病院
院長 坂本 嗣郎

診療科だより

循環器内科



循環器内科部長
稲葉 秀子

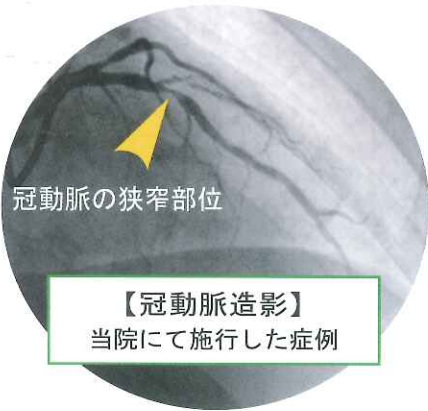
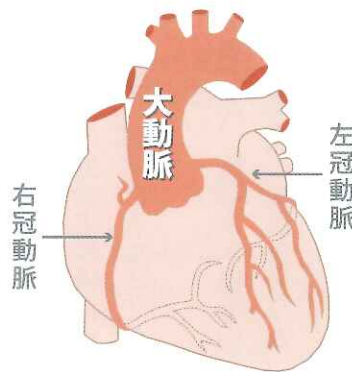
循環器内科では、主に心臓と血管に関係した疾患への診療をおこなっています。代表的な病気としては次のようなものがあります。

1. メタボリックシンドロームの診断基準でもある生活習慣病の高血圧症、高脂血症、糖尿病
2. 心臓を栄養している血管が狭くなったり詰まってしまいう虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞はこれに分類されます）
3. 足への血管に動脈硬化が進んで血流障害を起こす閉塞性動脈硬化症
4. 脈の乱れを起こす不整脈（心房細動、心室細動、房室ブロックなど）
5. 生まれつき心臓に問題がある先天性心臓病（心房中隔欠損、肺動脈狭窄など）
6. 心筋の病気、心臓弁膜の病気、心膜の病気など

今回は虚血性心疾患について、少しお話をさせていただきます。

虚血性心疾患とは

虚血性心疾患には、狭心症と心筋梗塞があります。心臓は、全身に血液を送り出すポンプです。そのポンプにエネルギー源となる血液を供給しているのが「冠動脈」という血管です。冠動脈は心臓の表面を走り、まるで心臓にかぶさった冠（かんむり）のように見えるのでこうよばれています。この冠動脈に動脈硬化が進むと、血管の内腔が狭くなります。すると、心臓に供給する血液が不足します。この状態を「心筋虚血」といいます。心筋虚血になると心臓はSOSサインを痛みや圧迫感という形で発信します。これが狭心症です。



【冠動脈造影】
当院にて施行した症例

主な症状

労作時に起こる、数分間の胸痛が狭心症の典型的な症状です。しかし、夜く明け方に運動とは無関係に胸痛が起こることもあります。この場合は冠動脈にけいれん（冠攣縮）

また、細くなってしまった部分に血の塊（血栓）などが詰り、まったく血液が流れなくなってしまうと、そこから先の心筋が壊死してしまいます。これが心筋梗塞です。

が起きている可能性が高く、またこのタイプの狭心症は男性に起こりやすく喫煙は大きな危険因子であることがわかっています。心筋梗塞では安静、運動に関係なく突然の激しい胸痛が30分以上持続します。冷や汗、吐き気、動悸、呼吸困難を伴うこともあります。心筋梗塞は狭心症よりもはるかに危険で命にかかわる病態です。早急に適切な治療が必要です。

検査

外来でできる検査としては心臓超音波検査、ホルター検査、運動負荷検査があります。最終的な診断をつけるためには冠動脈造影検査を行います。これは腕や太ももの付け根の動脈からカテーテルという細い管を冠動脈まで入れ、造影剤を流し血管の流れを映像にします。約30分ほどの検査で最近では大変安全に行えるようになりました。現在当院では2泊3日の入院で行っています。

治療・予防法

虚血性心疾患の治療として、①薬物治療、②カテーテルによる治療、③バイパス手術の3つがあります。どの治療を選ぶかは年齢、冠動脈の状態、心臓の機能などいろいろな要因によって選択されます。虚血性心疾患の直接の原因は動脈硬化であり、高血圧、高脂血症、糖尿病といった生活習慣病が一番大きな病因となります。

日本人の三大死因は、がん、心臓病、脳卒中であり、心臓病全体では年間15万人くらいが死亡し、そのうち約半分が虚血性心疾患です。病気の早期発見早期治療が最も有効な対処法です。当院では毎日循環器外来を開き、検査治療も行っています。検診などで高血圧、高脂血症、糖尿病や心臓病の可能性を指摘されたり、胸痛、動悸、息切れといった気になる症状のある方はご相談いただければと思います。

より良い病院を目指して

■□■ 当院には呼吸器療法認定士がいます ■□■



看護部 矢内さん 臨床工学科 長島さん 看護部 池亀さん

私は呼吸器と循環器の病棟に勤務しています。そのため、人工呼吸器を装着している患者様のケアを行ったり、呼吸器疾患の専門的な知識や判断力を求められる場面が数多くあります。患者様と関わっていく中で、もっと呼吸器について学び、より質の高い看護が行える様に成長したいと思い認定を取る事を決意しました。

現在は学んだ知識を生かし、患者さまの口腔ケアや、排痰等の呼吸器ケアを積極的に行うようにしています。また、日々変わっていく医療のなかで、出来るだけ新しい情報を得るためにセミナー等に積極的に参加するように努めています。当院でも少しずつ認定を取得するスタッフが増えてきているので、今後は呼吸器チームなどを作り患者さまによりよいケアの提供が出来るようにしていきたいと考えています。

【看護部 池亀】

■□■ JICA 海外研修生を迎えて ■□■

JICA とは？ 正式名称「独立行政法人 国際協力機構」

2003年10月、前身の「国際協力事業団」を引き継ぎ、新たなスタートを切りました。日本と開発途上国の人々を結び架け橋として、社会・経済の開発を支援するため、技術協力（制度構築・組織強化・人材育成）や無償資金協力の一部の事業を実施しています。



当院でJICAの受入れは3年目になりますが、昨年11月8日と11日、2日にわたり中南米から病院長や事務長クラスの研修生がいらっしゃいました。当院の坂本院長、久保田事務長、渡邊看護部長による講義が行われ、それぞれが抱える問題に取り組もうとする姿勢が伺えました。ディスカッションでは活発な意見交換が繰り広げられ、終始笑顔で終えることができました。

今回の研修を担当させて頂いたことで、日本は他国の病院に比べて恵まれていることを実感しましたが、今後より良い医療が提供できるよう努力し続けたいと考えています。

各国によってそれぞれの文化がありますが、国境を飛び越え交流できることはお互いにとっても刺激になり、有意義な時間となりました。日本でいろいろな学びを得て、楽しい思い出を作り、帰国されるよう願っています。

【看護部 係長 辻川】

新設

がん相談支援室&緩和ケアチーム



がんについての悩みや
苦痛の症状は「ささいませんか？

近年、がんを患う患者さまは年々増加傾向にあります。がんと言いつても悩みや症状は患者さまによって様々です。私たちが普段患者さまと関わらせていただく中で、様々な悩みや症状を抱えている患者さまを多数拝見してきました。当院ではそのような現状に対応するために、平成21年1月より「がん相談支援室」の新規設立と「緩和ケアチーム」を立ち上げるようになりました。

「がん相談支援室」では、「もしかしたら私はがんじゃないか」というような初期の段階の不安や、「他院で薦められている治療が本当に妥当なのか」といった診断後の不安、さらに闘病中の治療費のことやお仕事のことなど多岐に渡るお悩みに対し、お話を聞かせていただき、その内容により専門家が丁寧にご相談をお受けいたします。

また、「緩和ケアチーム」ではがんと共に生きる患者さまの痛みなどの症状や不安に対し、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・ソーシャルワーカーなど多職種がひとつのチームとなり、患者さまのがんによるあらゆる症状の緩和に向けてサポートしていきます。まずは、お気軽にご相談ください。私たちが責任を持ってサポートさせていただきます。

【担当者】

がん相談支援室

緩和ケア専従看護師 佐山（さやま）



訪問介護

ホームヘルパーがご自宅まで訪問し、介護や家事援助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

○身体介護：食事の介助 / 入浴・更衣の介助 / 身体清潔 / 排泄の介助やおむつ交換 / 体位交換の介助 / 通院・外出の介助

○家事援助：掃除や整理整頓 / 洗濯 / 買い物 / 布団干し / 食事調理・配膳・片付け など

お問い合わせは・・・

東大宮ヘルパーステーション

☎ 048-688-5025 (直通)

訪問看護

看護師がご自宅まで訪問し、療養上の世話(看護)や診療の補助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

健康状態の観察と助言 / 清拭、洗髪や入浴の介助 / 褥瘡などの処置 / 療養環境の整備 / 留置カテーテル、各種医療機器の管理と指導 / 介護者の健康管理と精神的支援 / かかりつけ医の指示による処置・検査 / 理学療法士によるリハビリテーション など

お問い合わせは・・・

東大宮訪問看護ステーション

☎ 048-688-8388 (直通)

医療相談

病气やけがをすると、健康なときには考えなかった不安や心配事、患者さまやご家族の経済的・社会的な問題が起こってきます。そんなとき、当相談室をご利用ください。

たとえば・・・

- 当院の回復期リハビリ病棟の利用について
- 社会福祉制度(介護保険など)や施設、専門病院などの利用について
- 健康保険・年金など社会制度について
- 治療費や入院費、残された家族の生活費など、経済的な心配について・・・など

お問い合わせは・・・

東大宮総合病院

☎ 048-684-7111 (代表)

医療相談室

当院の

数字アラカルト

外来患者数	727.2人/日
入院患者数	252.0人/日
在院日数	16.9日
ベッド稼働率	79.5%
救急件数	271.2件/月
手術件数(全麻)	92.2件/月
心臓カテーテル検査件数	27.2件/月
内視鏡件数	360.8件/月

平成20年 8~12月平均

盲導犬へのご支援ありがとうございました

当院では盲導犬募金箱を1階外来カウンターと、2階の歯科口腔外科窓口に設置しています。先日、財団法人日本盲導犬協会より、御礼のお手紙をいただきましたので、ご紹介します。

「市民の皆様からの温かい寄付」を盲導犬育成のために大切に使用させていただきます。

財団法人日本盲導犬協会は、日本最初の盲導犬訓練施設として、昭和20年に設立されて以来、目の不自由な方の自立と社会参加のために活動してまいりました。一頭でも多くの盲導犬を育成するために、平成20年度は50頭の育成を目標にかかげ、訓練士一同日々精進を重ねております。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

日本で活躍する盲導犬 996頭

盲導犬
希望者

今すぐ希望している人 4,700人

将来希望する人を含めると 7,800人



編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年はがん化学療法委員会、院内がん登録委員会が立ち上がりました。今年のはがん相談支援室、緩和ケアチームを軌道に乗せ、「地域がん診療連携拠点病院」を職員一丸となって目指していきたいと思っております。

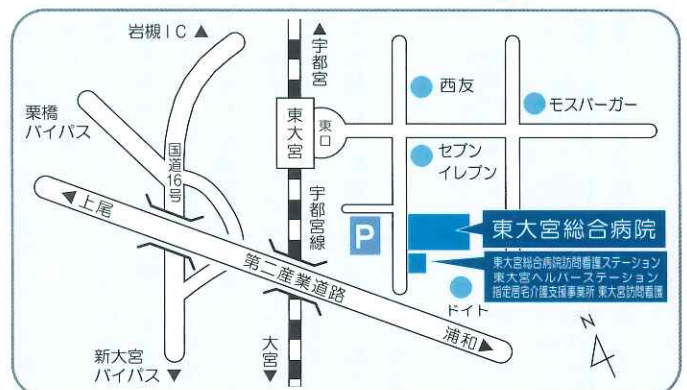
今年もよろしくお願い致します。

医療法人社団協友会

東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車
東口より徒歩3分



HIGASHI OMIYA